



問題

『薬の名前ってどうやって決めるんだろう？』



解説

皆さんは薬局に行って欲しい薬の名前を言ってお薬を買いますよね。また、病院に行って処方箋をもらうとそこに薬の名前がかいていありますよね。そんな薬の名前ってどうやって決めるのか、考えたことってありますか？

例えば、「ナイシトール」という肥満改善薬があります。これはおなかにたまった体脂肪を分解して燃焼しやすくする薬です。つまり「内臓脂肪を取りやすくする、ナイ臓脂肪をトル・・・」、もうおわかりですね。そうカタカナの部分を集めると「ナイシトール」となります。他にも似たような例があって、「アレギサール」は抗アレルギー薬でこれを飲むことでアレルギー症状を取り去るということからつけられました。このように名前を見ただけでどの様な薬か分かるように名前が付けられたものもありますが、決してそれだけではありません。インフルエンザにかかったとき処方される薬で「タミフル」がありますが、これは主成分のオセルタミビルの「タミ」とインフルエンザの「フル」を合わせてできた名前など、薬の成分名が名前に含まれていたり、体の組織の名前が入っていたりなど、一般の人が名前を見ただけでは分からないものもあります。しかし、薬剤師は薬の効くメカニズムや病気の原因なども勉強するので、薬の名前から連想することができるようになります。

しかし、ここで注意しなくてはいけないことがあります。実は名前がよく似ているけど、薬の作用が全然違う薬もあるんです！例えば「サクシン注射剤」と「サクシゾン注射剤」はパッと見名前がよく似ていますが作用は全然違って、サクシン注射剤は筋肉の動きを止める薬ですが、サクシゾン注射剤は炎症を和らげる薬です。もし、炎症を和らげるために薬を使ったはずなのに、筋肉の動きを止める薬を使ったら、呼吸が出来なくなって・・・、とても大変なことになります。ですから名前はしっかりと確実にチェックしないとイケません。これも薬剤師の大切な仕事なのです。

(回答者：佐口健一)